

学校名	福島県立郡山北工業高等学校	校長	鈴木 稔
住所	福島県郡山市八山田二丁目224番地		
TEL	024-932-1199	URL	https://koriyamakita-th.fcs.ed.jp

未来創造技術者の育成

取組の概要

本校は、機械・電気・電子・情報技術・建築・化学工学の6学科を設置する県内工業高校の中核をなす高校として多くの工業技術者を輩出し、卒業生は県内外で活躍しています。絶え間ない技術革新で大きく社会が変化する中、本校は「ものづくり教育」を通して各種競技会や資格取得の他、部活動にも積極的に取り組むことにより、基礎的な知識・技術を基に考え判断する力や表現力等、これからの時代に求められる力や工業技術者としての倫理観を備えた地域産業の未来を担う人材育成に努めています。

内容

1 各種競技会全国大会出場

○第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会「電子回路組立部門」第5位
令和3年11月13・14日、神奈川県横浜市中区で開催された高校生ものづくりコンテスト「電子回路組立部門」に島貫健君（情報技術科3年）が東北代表として出場し、第5位入賞を果たした。



感想

島貫健君（情報技術科3年）

かねてから目指していた全国大会に出場することができ、努力の成果が形になる喜びを実感しました。結果は5位となり、目標としていた3位以内には届きませんでした。それでも、毎日の練習を通し、貴重な知識や経験が得られたと感じています。大会に出て良かったと心から思いました。

2 難関資格取得

○7人が難関国家資格取得

5万ボルト未満の事業用電気工作物の「工事・維持・運用」の保安の監督に従事できる第三種電気主任技術者を伊藤優寿君（電気科3年）が取得、ITエンジニアとして技術から管理、経営まで幅広い知識と応用力が要求され、システム開発、IT基盤構築などに高いパフォーマンスを発揮することができる応用情報技術者は根本凌嘉君（情報技術科2年）、基本情報技術者は押山康平君、島貫健君、根本裕紀君（いずれも情報技術科3年）、また、公衆通信回線などに接続する端末設備の配線工事や監督に必要な資格である工事担任者総合通信種に中畑雄斗君、山崎貴仁君（ともに電子科3年）が合格した。



感想

伊藤優寿君（電気科3年）

昨年は得意科目が不合格で、悔しさから半年ほど前から勉強した。電力会社に就職後は、資格を生かすミスのない仕事がしたい。

3 部活動全国大会出場

○第74回全日本バレーボール高校選手権大会ベスト16

5年ぶり10回目の春高バレー出場を果たしたバレーボール部は、令和4年1月6日東京体育館において東京学館新潟高（新潟）と対戦しセット数2-0で快勝。翌7日、ベスト8を懸けて強豪・崇徳高（広島）戦に臨んだが18-25、21-25、セット数0-2で惜しくも敗退となった。しかし、各選手の活躍により郡山北工バレー部春高バレー初勝利・ベスト16という輝かしい歴史を刻んだ。



感想

バレーボール部主将 久保木颯士君（機械科3年）

序盤から勢いに乗って自分達のバレーができた。全員が楽しんでプレーできていた。

○第25回全国高校新聞年間紙面審査賞優秀賞（全国第2位）

報道委員会と写真部が共同で製作する「郡山北工高新聞」は、令和3年8月3日から6日に和歌山県和歌山市で開催された、紀の国わかやま総文新聞部門において全国第2位となる優秀賞に選ばれた。本校初の受賞で、福島県勢としても4年ぶりとなる受賞となった。

感想

報道委員長 伊藤楓真君（情報技術科3年）

コロナ禍で取材が制限される中、学校内取材するなど工夫を凝らした。先輩方と築き上げてきた新聞が評価されて光栄。



作成

西暦2022年1月